こんにちは！渡辺一美です！

かずみ通信

魚沼市議会議員

発行／白ゆりネットワーク　No,2　2009.10月発行

〒946-0075　魚沼市吉田 280－4 TEL　025-792－4791　FAX　792-5883

6月28日の市議会議員選挙におきましては、多くの皆様の御支援で、初当選させていただきました。お寄せいただいた真心をしっかりと受けとめ、4年間全力で働く決意でおります。当選後、月日の経つのは早いもので、6月議会(会期は7月)、8月の衆議院選挙、9月議会と毎日が慌しく過ぎ、通信の発行が遅くなり申し訳ありませんでした。今回のかずみ通信は、6月(7月)議会と9月議会の報告をさせていただきます。

さて、新政府は二酸化炭素 25%削減を打ち出し、給付付税額控除の税制導入や選択制夫婦別姓制度等々、公明党のマニフェストで民主党のマニフェスト以前から打ち出していた数多くの政策が検討されはじめました。以前公明党として国会に提出したときに民主党が反対した法案もあり、少し解せませんが、自民党との連立では実現できなかった政策が、政権交代によって実現するのならば、国民のため公明党が取り組んできた政策に対し、その内容がより良い政策になるよう、公明党の国会での役割に期待します。

《公明党新代表を紹介します》

山口　那津男(やまぐち　なつお)

１９５２年、茨城県生まれ。東京大学法学部卒。弁護士。
９０年に衆院初当選（当選２回）し、２００１年から参院議員（現２期）。
防衛政務次官、党政務調査会長など歴任。
妻と１女２男の５人家族。東京都在住。５７歳。

この度の衆院選は、小選挙区ですべての議席を失うという厳しい結果に。しかし、比例区８０５万票は庶民の声を政治に届け続けてきた公明党への信頼と期待の証。

その期待に応える為　「率先して『現場を歩く代表』『対話に動く党首』になる」と決意し、公明党らしい“大誠実の政治”で全国を飛び廻る山口新代表。

さわやかで明快な語り口は、テレビ討論でもおなじみ。国会論戦での緻密な論理と独自の調査を基にした鋭い追及は“政界きっての論客”と定評がある。

党代表を務めた神崎武法常任顧問は「バランス感覚があり、頭も柔軟。２度の落選で、悔しさのなか捲土重来(けんどちょうらい)で頑張ってきた人だ。党再建へ指揮を執るのにふさわしい」と期待を寄せている。

実績の多くは“誠実な対話と行動”から生まれた。たとえば、紛争後も住民の命や手足を奪う「地雷」の除去支援や、子爆弾を散布し無差別に人を殺傷する「クラスター弾」の全廃、離島支援や学校耐震化、東京大気汚染訴訟の全面解決等々。

「平和や国際貢献を叫ぶ政治家は大勢いますが『現地の人々を幸せにする』との強い覚悟で一緒に汗を流してくれたのは山口さんだけ」と語る海外で地雷除去活動を展開する雨宮清氏（山梨日立建機㈱代表取締役）。党内外から多くの信頼を集めている。

6月(7月)定例議会報告(会期:平成21年7月13日から7月28日)

前政権の補正予算（経済危機対策臨時交付金及び公共投資臨時交付金）をうけて総額22 億8 千350 万円の一般会計補正予算が可決されました。(詳細は議会だより23号をご覧ください)　百年に一度といわれた経済危機に際して地方経済を底上げするための補正予算では、市に予算がなく以前から懸案だった建物の解体をはじめ、里山整備事業や各小中学校の図書館に冷房を設置し、地上デジタルテレビを各階一台設置するなど教育現場の設備も充実させます。この他にも雇用・金融対策事業、インフラ整備・光ファイバー網整備工事など市民の皆様の生活のお役に立つ、多くの事業が盛り込まれました。

しかしながら、新政権は前政権の補正予算を一部凍結して、子ども手当てや高速道路無料化の財源に充てるといっています。

地方にとって、補正予算の経済対策効果はこれからです。魚沼市の予算がすべて執行され、しっかりと経済効果があがることを願ってやみません。

7月22日渡辺一美の一般質問（要旨）

《少子化対策について》

質　未就学児童乳幼児の医療費無料化の検討を

答　今後医療費全体の増加にも配慮しながら検討させていただく

質　第3子以降の子どもに手厚い政策として保育料の減免や給食費への助成などを考えてみては

答　当面現行どおりにさせていただきたいと考えているが今後の検討課題とする

質　女性の健康を守るため検診手帳と無料クーポン券を配布する「女性特有のがん検診推進事業」の導入を

答　国の対策を受け　魚沼市としてもなるべく早い時期に事業を導入できるよう準備をすすめている

質　子宮頸がん予防ワクチン　乳幼児の細菌性髄膜炎予防ヒブワクチンへの公費助成の検討を

答　子宮頸ガンワクチンの導入は具体的な検討に入る　ヒブワクチンは今後の国等の動向を見た中で対応していきたい

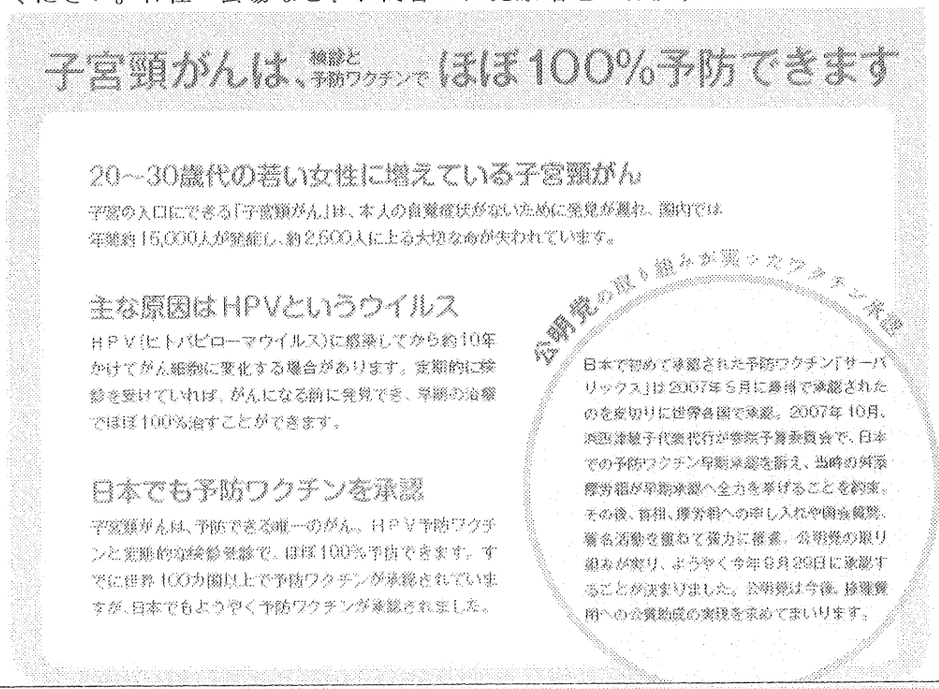
《害虫（蚊）対策について》

質　近年蚊の被害が多くなってきたが市民の健康を守るため原因調査の検討を

答　発生が非常に多くなっている情報を得ている以上、対策を講じる必要性を判断するためにも調査を行いたいと考えて調査を行いたいと考えている

ご意見をお聞かせください！
現場の声を市政にいかしていきます

子宮頸がんは一年に一回の検診が理想です。特に若い女性の皆さん、魚沼市では、レディースデイ(女性専用がん検診日)を設けています。安心して、この機会に受診してください。日程・会場など、お問合せは健康増進室保険班(TEL 797-4803)まで



9月定例議会報告（会期：平成21年9月9日から10月6日）

平成20年度決算に対する渡辺一美の質問

[ファミリーサポート制度]について

サポーターとして、市民の方々が提供会員として登録してくださっているのに、子育て中のお母さん達がこの制度を知らないでいるため、20年度の利用はたったの4件。地域の力で子育てを応援、支援するための制度を活用していただく努力を。

もっと周知に工夫をするよう要望。

[ブックスタート事業]について

公明党の推進で実現した事業。魚沼市では1歳になるお子さんを対象に絵本をプレゼントしている。できれば、4ヶ月検診時などで実施したい事業である。

私の質問で約25%ものお子さんに渡っていない事が判明。配布率を上げる工夫を。

[中央図書館構想]について

庁舎統合後の空き庁舎の利活用として中央図書館を検討。との答弁。

中央図書館と美術館を併設し、市民の皆さんが利用しやすい施設になるよう要望。

＊　9月議会の一般質問は10月25日発行の議会便りをご覧ください。

＊　渡辺一美の所属会派は「21クラブ」（代表：関矢孝夫議員。副代表：星吉寛議員）です。この会派は平成21年の市議会議員選挙で初当選した議員7人で結成しました。新人ではありますが、メンバーはそれぞれに得意分野があります。互いの良さを活かし、常に学び、市民の為に議会で活躍できる人材になることを目指しています。

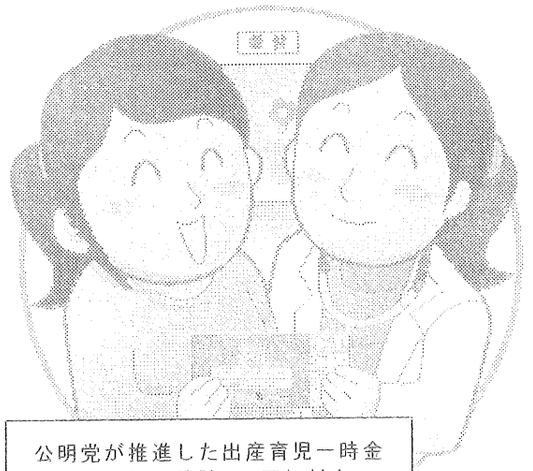
渡辺一美は、子宮頸がんの毎年検診、予防ワクチンの公費助成の早期実現と若い女性への乳がん検診の実施を魚沼市に求めていきます！！

（乳がん検診はマンモグラフィ導入により二年に一回のがん検診で早期発見ができます）

NEW KOMEITO

公明党の推進で実現！

乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンを利用しましょう



公明党の推進により、平成21年度補正予算で、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン配布が実現しました。魚沼市でも配布されていますが、対象（※一定年齢の方。下表参照）となった皆様にクーポンが届いていますでしょうか。

乳がん・子宮頸がんは早期発見が大事。そのためには何よりも、がん検診を受けることが重要です。しかし、日本の検診受診率は20%程度と、欧米の70～80%に比べて極めて低い状況です。検診無料クーポンを利用して、ぜひ検診を受けましょう。

公明党が推進した出産育児一時金の増額と妊婦検診14回無料も来年以降も事業を継続するよう、魚沼市と国に求めていきます

公明党は、来年度以降も事業を継続するよう国に求めています。

子宮頸がん検診無料クーポンの配布対象者

年齢	生まれた年度
20歳	昭和63(1988)年4月2日～平成元(1989)年4月1日
25歳	昭和58(1983)年4月2日～昭和59(1984)年4月1日
30歳	昭和53(1978)年4月2日～昭和54(1979)年4月1日
35歳	昭和48(1973)年4月2日～昭和49(1974)年4月1日
40歳	昭和43(1968)年4月2日～昭和44(1969)年4月1日

乳がん検診無料クーポンの配布対象者

年齢	生まれた年度
40歳	昭和43(1968)年4月2日～昭和44(1969)年4月1日
45歳	昭和38(1963)年4月2日～昭和39(1964)年4月1日
50歳	昭和33(1958)年4月2日～昭和34(1959)年4月1日
55歳	昭和28(1953)年4月2日～昭和29(1954)年4月1日
60歳	昭和23(1948)年4月2日～昭和24(1949)年4月1日

事業主の皆様へ
女性の健康を守る子育て支援の一環としてのこの事業の主旨をご理解いただき、女性従業員の方々が受診くださるよう、ご配慮ご手配を宜しくお願い致します。